

諸本『華嚴經』の章立ての相違と編集過程

朴 賢 珍

1. 『華嚴經』全体の梵本はいまだ発見されず、仏駄跋陀羅訳六十卷本（421 年，以下『六十華嚴』）と実叉難陀訳八十卷本（699 年，『八十華嚴』）との漢訳二種，そしてイエシュエデ等による蔵訳（九世紀，『蔵訳華嚴』）一種とが残されている．この三本は翻訳年代の順に新たな章が編入され増広されるとともに，章立ても異なってくる．これは同経の編集過程を明かす上で重要な意味を持つ．本稿では，同経の梵語原典を調査した中国華嚴宗の僧侶たちの記述などを参考にして，以上の三本において紙幅の関係で章立てが異なる箇所についてのみ考察したい．

2. 以上の三本において章立てが異なる箇所に，智儼（602～668）が調査した「大慈恩寺華嚴梵本」（以下『慈恩華嚴』）の記述¹⁾を加えて比較・対照すると，次のとおりである．

	『六十華嚴』	『慈恩華嚴』	『八十華嚴』	『蔵訳華嚴』 ²⁾
寂滅道場会	①世間浄眼品	(1) 世間浄眼品	〈1〉世主妙嚴品	《1》一切世主妙嚴出現品
	②盧舎那仏品	(2) 如来品	〈2〉如来現相品	《2》如来品
		(3) 普賢菩薩修行入三摩提品	〈3〉普賢三昧品	《3》普賢三昧神変出現品
		(4) 説入世界海品	〈4〉世界成就品	《4》世界海説浄方成就品
		(5) 浄世界海功德海光明品	〈5〉華藏世界品	《5》蓮華藏莊嚴世界海清浄功德海照明品
		(6) 世界輪囷莊嚴海品		《6》世界海輪囷莊嚴海説品
		(7) 説世界海莊嚴地品		《7》世界海地莊嚴説品
		(8) 觀世界性処品		《8》国土性処説品
		(9) 觀世界処安住音声品		《9》世界性安住説品
		(10) 毘盧舎那品	〈6〉毘盧遮那品	《10》毘盧舎那品

『六十華嚴』の②「盧舎那仏品」は『八十華嚴』では〈2〉～〈6〉の五章に分けられて増広され，『慈恩華嚴』『蔵訳華嚴』では九章に分けられている．さらに『八十華嚴』の〈5〉「華藏世界品」は『慈恩華嚴』『蔵訳華嚴』では五章に分けられている．しかし『八十華嚴』の梵語原典（以下「八十華嚴梵本」）を調査した慧苑（673～743）によれば，〈5〉はもともと「八十華嚴梵本」では五章に分けられて

(48)

諸本『華嚴經』の章立ての相違と編集過程（朴）

いたと述べ、それらの章題を訳して記している³⁾。それらを『蔵訳華嚴』の章題と比較すると、以下のとおりほとんど一致する。

「八十華嚴梵本」華藏莊嚴嚴具世界海之遍清淨功德海光明：《5》'jig rten gyi khams rgya mtsho gzhi dang snying po me tog gi rgyan gyis brgyan pa'i yon tan rgya mtsho yongs su dag pas snang ba, *kusumatala-garbha-vyūhālaṃkāra-lokadhātu-samudra-pariśuddha-guṇa-samudra-avabhāsa, 中心内容——「華藏莊嚴世界海の成立因縁」と下から華藏莊嚴世界海を支えている「風輪の構造」；「八十華嚴梵本」說華藏莊嚴世界海輪囷莊嚴：《6》'jig rten gyi khams rgya mtsho'i 'khor yug gi rgyan rgya mtsho shin tu bstan pa, *lokadhātu-samudra-cakravāḍa-alaṃkāra-samudra-nirdeśa, 華藏莊嚴世界海の中の「輪囷山の莊嚴」；「八十華嚴梵本」說世界海大地上莊嚴：《7》'jig rten gyi khams rgya mtsho'i sa'i gzhi rgyan shin tu bstan pa, *lokadhātu-samudra-dharaṇī-tala-alaṃkāra-nirdeśa, 輪囷山の中の「大地の莊嚴」；「八十華嚴梵本」說刹種安立：《8》zhing gi rgyud kyi gnas shin tu bstan pa, *kṣetra-vaṃśa-sthāna-nirdeśa, 大地の中の「香水海の莊嚴」と、その香水海を構成している「香水河の莊嚴」, 「香水海の中の世界種」, 「世界種の中の世界が住している姿」；「八十華嚴梵本」說世界安立：《9》'jig rten gyi khams kyi rgyud rnam par dgod pa shin tu bstan pa, *lokadhātu-vaṃśa-vyavasthāna-nirdeśa, 世界種の中の「仏世界の名称」と「仏の名号」

これら五章は内容によって細分されているものの、全体としては「華藏莊嚴世界海」についての説明であり、これを「華藏世界品」という一章にまとめたのは、漢訳過程において翻訳者による章立ての改訂が行われた一例とみなせる。

3. 慧苑が報告する「八十華嚴梵本」の章立ては『六十華嚴』を除く他本の章立てと完全に一致することがわかる。この問題に関して日野〔1955〕は『慈恩華嚴』を『六十華嚴』のものと原典と同定し、『慈恩華嚴』の(2)～(10)を翻訳者の仏駄跋陀羅が②の一章にまとめたというが、智儼の記述のみに従って『慈恩華嚴』を『六十華嚴』の原典と同定するにはさまざまな困難がある。ことに松田〔1988: 18-19〕によって報告されている梵語断片と筆者が調査したチベット語部分訳は、章立てにおいて他本とは全く異なり、『六十華嚴』に対応する⁴⁾。そして『六十華嚴』の②と『八十華嚴』『蔵訳華嚴』の対応箇所を比較・対照すると『八十華嚴』『蔵訳華嚴』は相当に増広されていることから、②は内容的な増広・発展の過程とともに、他本のように細分されたと考えられる。このことは、以下に述べる『蔵訳華嚴』の章構成の形式からも裏付けられる。

4. 漢訳二本では同一会座の諸章は「爾時」という文句で次々とつながっている。例えば『八十華嚴』の寂滅道場会の〈1〉が終わって〈2〉は「爾時」ではじまり、〈3〉～〈6〉すべても同じである（漢訳二本の全体が同一）。それと同様に『蔵訳華嚴』においても、同一会座の諸章は「de nas, atha khalu」でつながっている。

しかし、《5》～《10》には「de nas」が使われず、「kye rgyal ba'i sras dag, 諸仏子」などの呼びかけから始まる⁵⁾。これは漢訳二本と『藏訳華嚴』との全体的な章構成の形式からみれば、看過できない相違である。《5》～《10》に「de nas」という章の区切りの形式が備えられていないことは、章が細分される前の段階を示しているとともに、『六十華嚴』の②の一章が九章に細分されたことを裏付ける証拠・根拠でもある。そして『八十華嚴』ではその箇所すべてに「爾時普賢菩薩復告大衆言諸仏子」とあるが⁶⁾、『藏訳華嚴』にはない下線に示した挿入の句が、「八十華嚴梵本」にも存在したかどうかは不明である。もし存在したとするなら「八十華嚴梵本」は『藏訳華嚴』の原典より、章構成の形式がさらに整備されたことになり、もしそれが漢訳者の実叉難陀によるものなら、実叉難陀は章構成の形式の不完全さや内容上の関係などを考えて章立てを改訂し、内容上の区切りを示すためにこの一句を新たに付加したことになる。

5. 以上の考察より次の三点が明らかになった。第一、『八十華嚴』の翻訳者の実叉難陀は漢訳過程において章立てを改訂したが、もともとの「八十華嚴梵本」の章立ては『慈恩華嚴』『藏訳華嚴』と一致し、「八十華嚴梵本」と『藏訳華嚴』の章題はほとんど一致する。第二、『藏訳華嚴』は章構成の形式においてむしろ『八十華嚴』より古形を残しており、これは章が細分される前の段階を示すのである。第三、『六十華嚴』の②「盧舎那仏品」は、内容的な増広・発展の過程とともに、他本のように細分された。

-
- 1) 『華嚴經内章門等雜孔目』卷四「梵本同異義」(大正 58, 588a13-589b13). 2) 『藏訳華嚴』の品題は『影印・北京版 西藏大藏經總目錄・索引』p. 107 による. 3) 『続華嚴略疏刊定記』卷三「華藏世界品第五」(続 3, 627c7-628a5). 4) 『影印・北京版 西藏大藏經——大谷大学図書館蔵——』vol. 34, mu200b5-6. 5) 同上 vol. 25, Yi109b1; 111a4; 112a3; 113a2; 119b6-7; 156a3. 6) 大正 10, 39a16; 39c3; 40a3; 40b6; 42b23; 53c21.

〈参考文献〉

- 日野泰道 [1955] 「智儼の伝へたる「大慈恩寺華嚴梵本」考」『印度学仏教学論叢 山口博士還暦記念』法蔵館, pp. 254-261.
 松田和信 [1988] 「ドラマ 13 世寄贈の一連のネパール系写本について——『瑜伽論』「撰決撰分」梵文断簡発見記——」『日本西藏学会々報』34, pp. 16-20.

〈キーワード〉『華嚴經』, 寂滅道場会, 菩提道場会, 盧舎那仏品, 華藏世界品, 毘盧遮那仏品, 華藏莊嚴世界海, 智儼, 実叉難陀, 慧苑, 『刊定記』
 (東京大学大学院)